

令和6年度 第1回 公共調達監視委員会 議事概要

1 開催日時

令和6年10月24日（木） 9時55分～11時32分

2 委員会委員

税理士 岩佐 誠志
弁護士 島内 保彦
大学准教授 竹本 豊

3 議事

(1) 委員長選出

委員の互選により、島内保彦 委員が委員長に選出された。

(2) 審査対象抽出

審議対象は43件であるが、抽出は行わず全て審議した。

4 抽出案件の審議結果

審議案件について、以下のとおり、各委員との質疑応答等がなされたが、徳島労働局公共調達監視委員会設置要綱第9条に定める委員会から局長に対する「意見の具申又は勧告」は行われなかった。

(1) 整理番号16（令和6年中小企業・小規模事業者等に対する働き方改革推進支援）について

(委員) 不落札の事業所の落札額より、落札した事業所の入札額が高額となっているが、どのような基準があるのか。

(事務局) 落札者の決定は総合評価落札方式をとっており、入札額及び提案書に関するプレゼンテーションを総合的に評価し落札者を決定している。今回は入札額が高額の事業者の方が、提案書に関するプレゼンテーションの評価が高かったため、このような事案となっている。

(2) 整理番号21（令和6年度徳島労働局管内6施設で使用する電力(高圧)及び3施設で使用する電力(低圧)の供給）について

(委員) 電力はライフラインであり安定供給が必須となるので、年度ごとに一般競争入札により業者を決定する必要はないのではないか。最近では年度途中で撤退する電気事業者もあり、年度途中で電力会社を乗り換えることで費用負担が増え安定供給が見込めないのではないか。

(事務局) 電力供給契約については、電力供給状況を注視し、確実に供給可能な業者と契約できるよう準備することとしたい。